



# 長崎国際大学

大学の規模

小規模

エリア

長崎県

## 実施した具体的な事業

### 「チームNIUスポーツ」による 産学官連携地域密着型地域スポーツ振興活動 ～「大学スポーツ」による人口減抑制への挑戦～

#### 実施概要と目的

本事業の主旨は「スポーツの観点から『人口減抑制』に成りえないか?」「また「地方創生となりうる地域スポーツ振興活動とは何か?」のテーマに対し、本学が属する長崎県、佐世保市、複数企業・団体、教育機関と「産学官連携地域密着型」により事業を実施することで、以下の地域課題である

- スポーツの観点からの人口減抑制
  - 中学、高校における部活動人数の低下
  - 「中学部活動の地域移行」に関する指導者不足
- を本学の学生・教職員、賛同する地域の皆さま、さらに「探求型体験・

インターシップ事業」を通して、大学近隣の中学生・高校生も理解した上で本事業に参画していただきたい。

その結果、本事業で実施するプログラム・セミナーの参加者(市民、学生、中高生)は、本学が属する長崎県の「体育保健課」から発信する地域スポーツ行政を学ぶ機会により、「スポーツマネジメント人材」育成に繋げ、「中学部活動の地域移行におけるクラブ化」を想定した指導者増や質の担保に繋がり、「地域スポーツ振興」の活性化を通して、本取組の最大の目標である『「大学スポーツ」による人口減抑制への挑戦』したいと考える。

#### 地域が抱える課題 対象地域:佐世保市近隣地域(東彼杵郡他)

- ① 「地域スポーツ振興」活性化の必要性(指導者・専門家不足)
- ② 指導者・専門家による「指導、安全面」における質の保証
- ③ 「大幅な中学・高校の部活動登録人数の低下」の抑制

#### 大学スポーツ資源

**【人的資源】**強化指定部:9競技13団体381名・強化指定部指導者:監督・コーチ21名+1団体 顧問10名・国際観光学科スポーツツーリズムコース履修人数:200名・国際観光学科スポーツツーリズムコース担当教員:5名・スポーツサポートセンター:教員8名 職員3名・スポーツ支援・振興室:職員2名

**【施設資源他】**野球練習場、野球室内練習場、体育館、アーチェリー場、ゴルフ練習場、テニスコート4面、グラウンド、多目的グラウンド(人工芝) NIUスポーツウェブサイト \*:2024.5.1現在

#### ■ 事業1

[地域課題 ①②③]

#### スポーツプロモーション事業 学生・生徒スポーツアドミニストレーター育成事業

学外者講師及び本学教職員によるセミナー 5回開催。テーマは「スポーツマネジメント人材育成とは&『中学部活動の地域移行』におけるクラブ化とは」にて実施、参加者は中学生・高校生・学生・一般:434名。セミナーにより、競技指導者の育成も大事だが、クラブ運営における「スポーツマネジメント人材育成」が重要だと日本の西の端の大学から発信した。



#### ■ 事業3

[地域課題 ①③]

#### スポーツプロモーション事業

先進的事例調査として渡米し、カリフォルニア州の「スクール2、大学5、高校、スポーツアカデミー、企業、クラブ、ショーケーストーナメント、インタビュー日本人学生・日本人母、公共施設2」視察実施。セミナー、NIUスポーツプロジェクト、連携連絡会議(行政、企業)にて報告。NCAAの現状(年間利益約1,500億円と還元)、スポーツの醍醐味実感。



#### ■ 事業2

[地域課題 ①②③]

#### 地域スポーツ振興事業

イベント「NIUキッズキャンパス&スポーツフェスタ」は、約1,000名の子ども達(同伴者含)、さらに学生サポート153名にて実施することで、①指導者育成②イベント企画・運営(安全面含む)③スポーツ人口増の3つの目的、さらに本学に対するステークホルダー増や本学の「大学スポーツ」ファン層の拡大及び本事業により地域課題解決の一助になると感じた。



#### ■ 事業4

[地域課題 ①③]

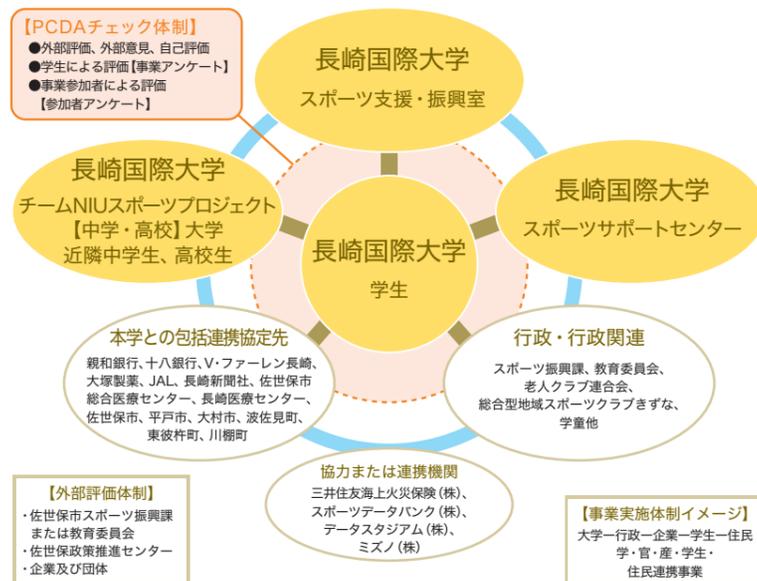
#### スポーツプロモーション事業

本学の強化指定部のリーグ戦・公式戦(女子バレーボール部、サッカー部、駅伝部)応援企画、韓国:東義大学とのスポーツ交流として、学生有志団体「NIUスポーツプロジェクト」が観客(学生、保護者)にスティックバルーンを配布した。観客や東義大学関係者からは、「楽しい応援が出来て、嬉しかった。」や「遠くから子どもの応援に来て良かった」との声有り。



#### 実施体制図

#### 連携ポイント・意識した点



学内:教職員・事務組織、国際観光学科スポーツツーリズムコース、強化指定部、学内プロジェクトとの融合

スポーツ支援・振興室 長崎国際大学 室長 兼 スポーツアドミニストレーター 兼 スポーツサポート副センター長 徳吉 剛

長崎県担当者、産(企業、競技団体)学(各教育機関)官(地方公共団体)言(メディア)、学内との連携

長崎県教育庁体育保健課学校体育班 久田 晴生

## 結果・成果・振り返り

- ★「設定したKPIに対する結果と成果」については【 】内にて明記。
- 「指導者における安全面に関するeラーニング&認証制度(KPI:登録数100名)【41名】
- 「中学生、高校生対象:探求型体験・インターシップ事業」(KPI:参加人数10名)【1名】
- 長崎県「指導者エントリーシステム」(KPI登録人数、本事業関係者30名)【40名】
- 事業実施による学生(サポート:企画、運営、地域振興)参加人数:50名【232名】
- セミナー・プログラム参加人数:200名【237名】
- イベント参加人数:300名【1,254名】

- アンケート調査(イベント参加者):400件【192名】
- アンケート調査(学生):1000件【212名】
- チラシ、POP:1,000枚【1,500枚】
- メディア(新聞、テレビ)取材、新聞掲載、テレビ放映:5件【13件】
- 本学ウェブサイト掲載:20件【16件】
- 本学ウェブサイトアクセス数:2,500件【13,926件】
- 事業における収入:委託業務経費10%【0円】
- プログラムの目的・概要:5段階評価:4以上、学生:事業評価アンケート:5段階評価:4以上【4.293】

- 参加者(学外)アンケート:5段階評価:4以上【4.756】 自己点検評価:3.63 【外部評価】5段階評価(S、A、B、C、D):A評価以上 外部評価:3.578

#### 話を聞いてみたい!

■長崎国際大学スポーツ支援・振興室 tokuyoshi@niu.ac.jp

■特設ページ [こちらを読み取りください▶▶](#)

